

内容をご熟読ください

HORNET[®]
Auto Security Systems



「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

<http://www.kato-denki.com>



軽自動車専用
カーセキュリティ
お買い得シリーズ!

カーセキュリティシステム K- α /K- β

MODEL

K- α /K- β

取扱説明書

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

この度はホーネットKシリーズをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書に記した注意事項は、ホーネットを安全かつ正しくご使用していただき、事故や損害を未然に防止するための大切なものです。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

本書はなくさないよう、大切に保管しておいてください。



- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、お客様サポートセンターまでご連絡ください。
 - 乱丁、落丁はお取り替えいたします。
 - 本書に掲載されている内容は2007年9月1日現在のものです。
- HORNET® コードホッピング® は加藤電機株式会社および Directed Electronics, Inc. の日本国および米国における登録商標です。
ドアトリガー™ クリックトーン™ コンビニモード™ ダイアグノスティック™ 等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の商標です。

お取り扱い上の注意	4	メモリー機能	14
安全上の注意	5	ダイアグノスティック™機能(K-βのみ)	14
使用上の注意	5	エンジンスターター、ターボタイマー作動時センサー使用可能.....	14
各部の名称と梱包物	8	NR-A ノイズリダクション™機能	14
各部の名称	8	ライトフラッシュ.....	15
K-αの梱包物.....	9	ホーネットロゴステッカー.....	15
K-βの梱包物.....	9		
ホーネットの特長	10	基本的な使い方	16
2段階衝撃センサー（独立感度調整可能）.....	10	ホーネットを作動させる	16
電流センサー	10	ホーネットを解除する.....	16
ドアトリガー™.....	10	サイレンが鳴っている時にホーネットを解除する.....	17
センサー警戒開始時間(5秒／5分)選択可能.....	11	クリックトーン® 消音機能.....	18
128dB 6音色サイレン	11	パニックモード(強制サイレン)	19
サイレン時間選択.....	11	コンビニモード™	20
デジタルリモコン(2個標準)	12		
コードホッピング®	12		
クリックトーン®（動作確認音）(ON / OFF)	12		
コンビニモード™	13		
パニックモード(強制サイレン)	13		

便利な機能	21	機能設定	29
ハイセキュリティ解除™機能	21	機能設定項目について.....	29
メモリー機能	22	機能設定項目1 クリックトーン® ON / OFF	30
動作確認用LED (K-βのみ)	22	機能設定項目2 サイレンタイムの選択	32
ダイアグノスティック™機能(K-βのみ)	23	機能設定項目3 電流センサー ON / OFF.....	34
エンジンスターター／ターボタイマー付き車両と併用する場合 ..	24	機能設定項目4 センサー警戒開始時間選択.....	36
		機能設定項目5 センサーレポート音.....	38
内蔵センサーについて	25	機能設定項目6 2段階衝撃センサーフルサイレン	40
2段階衝撃センサーについて	25	機能設定項目7 NR-A ノイズリダクション™機能.....	42
2段階衝撃センサー感度調整の方法	26	機能設定項目8 コードホッピング®	44
電流センサーについて.....	28		
		トラブルシュート	46
		故障かな?と思ったら.....	46
		アフターサービスについて	47
		アフターサービスについて	47
		保証書について	47
		修理をご依頼の前に	47
		修理を依頼されるときは	47
		お問い合わせ先	48

お取り扱い上の注意

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒントなどを説明。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒントなどを説明。



強制・制約・指示等を表す記号。

※左記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

お取り扱い上の注意

安全上の注意



警告

- エンジンルーム内に製品を取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。ショートをし、感電や機器が故障する可能性があります。
- リモコンはお子様の手が届かないところに保管してください。システムを解除してしまったり、誤って飲み込むなど事故の恐れがあります。
- メインユニットおよびオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行なってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。知識のない方が取り付けを行なうと車両、システムの故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。
- 当社全製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしてしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する可能性があります。また、分解および改造変更を行なった製品の保証は一切しておりません。
- 本製品は大音量のサイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に本製品を動作させないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。



使用上の注意

(1) 適応車種限定品

取付可能な車種は、下記条件を全て満たしている車種に限定されています。



危険

- 国産車限定
日本国内メーカーの車両に対応しています。
並行輸入車、外国車への取り付けサポートは一切行っておりません。
- DC12V車専用
24V車両には装着できません。



(2) リモコンの取り扱いに関する注意



注意

- リモコンは落としたり回いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
- 水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。
また、高温になる場所や湿気が多い場所に保管しないでください。
- 持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- リモコン電池確認ランプが薄暗くなったら電池が消耗しています。
早めに電池交換をしてください。
- リモコンの電池は機能テストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので無償交換などは一切致しておりませんのであらかじめご了承ください。電池が消耗している場合には新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます。
- 電波塔が近くにあるなどの電波障害がある環境の場合、リモコンの飛距離が著しく短くなる場合があります。



(3) 使用方法についての注意



注意

- テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。
当社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。
- 本製品は低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご使用されない場合は特にご注意ください。
- 本製品の警告音、サイレン音は、防犯上非常に効果的な120dB以上で発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切な感覚にてご使用ください。
- 何らかの理由で、リモコンのスイッチが押された場合には、走行中であってもパニックモードにより警報（サイレン音）が鳴りだす場合がありますが、あわてずにリモコンにより解除してください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品は完全防水性ではないため内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
- 本製品は電波を使用している性質上、周囲に強力な電波が発生している箇所では混信を受ける可能性が全くないわけではありません。

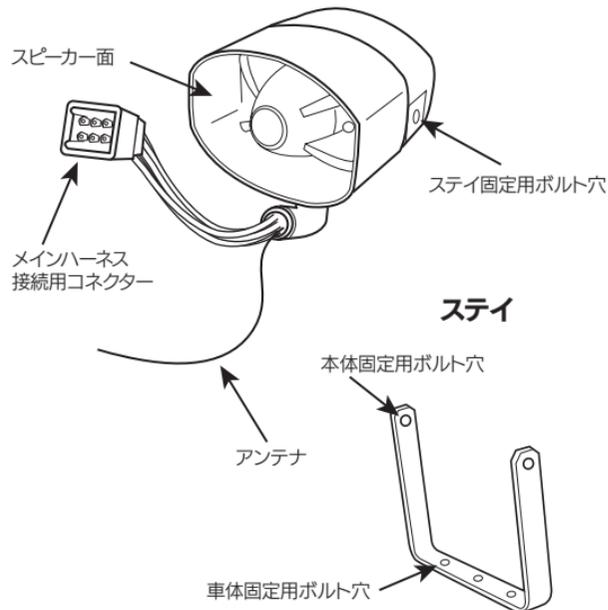


必ずお読みください

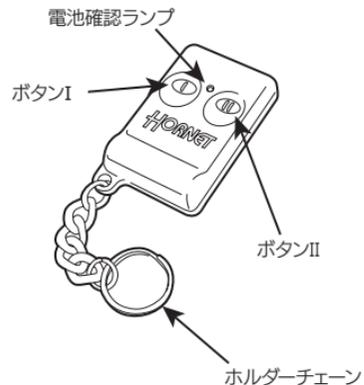
- 本製品内蔵の2段階衝撃センサーは取り付ける位置によって感度が大きく変わります。
また、周囲の温度変化により2段階衝撃センサーの感度が変化することがあります。
- 内蔵の2段階衝撃センサーが反応し、警告音が発報している間は内蔵の電流センサーはサイレンによる警報はしません。
- 本製品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても当社では責任は一切負いかねますのでご了承ください。
- 当社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行っておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はアナログ制御になります。コンピューターによるデジタル多重電送通信線への接続はできません。接続した場合は、本製品のみならず車両の機器を破壊する可能性があります。
- 車種により本製品の接続が不可能な場合があります。
- 本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

各部の名称

メインユニット

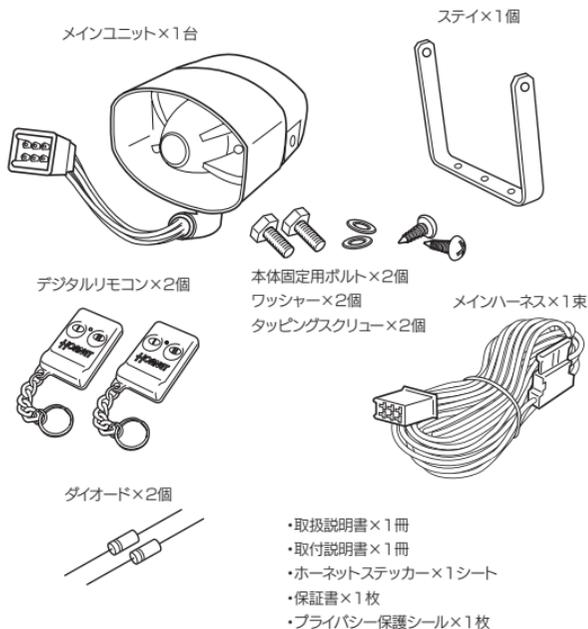


デジタルリモコン (型式:492T)



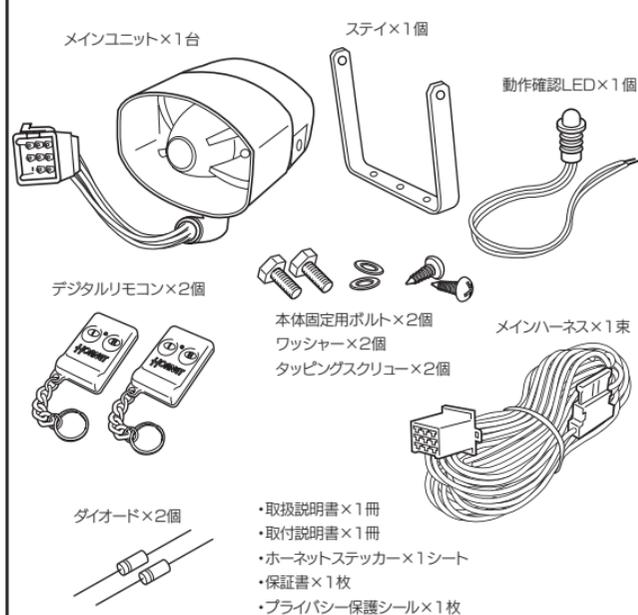
※本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

K-αの梱包物 (取り付けの前に必ずご確認ください)



※ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内におさまるように貼ってください。また、ステッカーの再発行はいたしません。

K-βの梱包物 (取り付けの前に必ずご確認ください)



2段階衝撃センサー（独立感度調整可能）

窓ガラスを割られた場合など、車体に加えられる弱い衝撃と強い衝撃を自動判別して警告音またはサイレン音を鳴らして威嚇します（警告モードとサイレンモードの独立感度調整が可能）。風などの揺れにはまったく反応せず、瞬間的に加わる衝撃あるいは衝撃波のみを検出できます。また、連続した微振動を検出すると、警告音からサイレン音または即サイレン音を鳴らして威嚇できます。

* 衝撃センサーの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（幹線道路周辺、工事現場や工場の近く、飛行場周辺、バックファイヤーの激しい車の往来、台風など）により微振動や衝撃波を検出して犯罪時以外にもサイレンが鳴る場合があります。センサーの特徴をよく理解し、ご使用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご使用ください。
* 一般的に衝撃センサーで傷つけを防ぐことはできません。

P.25・26 参照



電流センサー

ドア、トランクが開けられるなどして、ルームランプが点灯した際に車両に流れる電流変化をとらえて即サイレン音を鳴らします。

- * エンジンスターター、ターボタイマー、イモビライザー、オートスタビライザー、純正セキュリティ装着車の場合は電流センサーをOFFにする必要があります。
- * ルームランプの点灯による電流が少ない車両や、停止中でもなんらかの要因で電流変化がおこる車両の場合は、使用できないことがあります。

P.28・34 参照

ドアトリガー™

電流変化によるドアのこじり検出以外にもドアトリガー配線によってルームランプがOFFまたは破損している場合にも確実にドアの開閉を検出しサイレンを鳴らすことができます。

- * 電源を取る以外にドアトリガー配線が必要です。



センサー警戒開始時間（5秒／5分）選択可能

セキュリティシステムをONにしてから、各センサー（衝撃／電流センサー）が警戒を開始する間の時間を5秒と5分から選択できます。

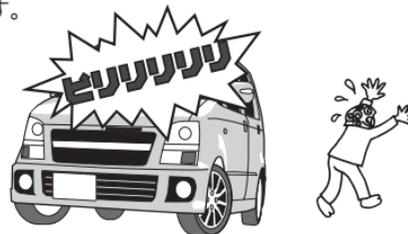
P.36 参照

標準設定 5 秒



128dB 6音色サイレン

犯罪心理を研究し開発された6音色サイレンは最大の約128デシベルの大音量で撃退効果は抜群です。



サイレン時間選択

犯人撃退に必須のサイレン音は、大音量で長い時間サイレンを鳴らした方が防犯効果は高くなります。しかし、大音量のサイレンではお客様の駐車環境によっては近所迷惑にもなりかねません。ホーネット k-α / k-β はこのような事情を考慮してサイレン時間を選択できます。リモコンによる機能設定によって5秒、10秒、15秒、30秒から選択ができます。

P.32 参照

標準設定 30 秒



デジタルリモコン (2 個標準)

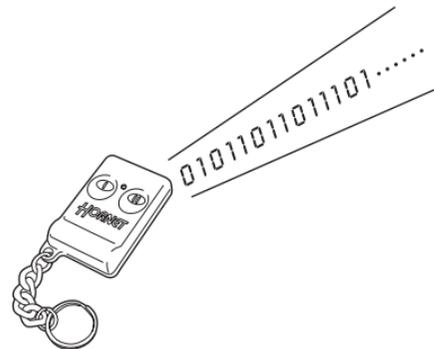
特許

ホーネットのデジタルリモコンは 687 億通り以上の ID コードを持ち電波の混信による誤作動はありません。電波障害がなければ通常 20 ~ 30 m の範囲で操作ができます。



ヒント

- リモコン増設をご希望の場合は、保証書をお持ちの上、取付販売店へ。
- セキュリティ製品のため保証書をご提示いただけない場合、増設をお断りする場合がございます。
- リモコンは最大 4 個まで併用可能。
- リモコン用電池：型式 601M (1 個入り) ¥525 (本体価格 ¥500)



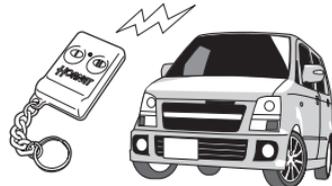
コードホッピング®

特許

コードホッピング (ID コード盗難防止機能) によりリモコンのコードを特殊なプログラムによりランダムに変化させ一度使用したリモコンコードは 2 度と使用しないため、ID コードの盗難を完全に防止できます。

P.44 参照

標準設定 ON



クリックトーン® (動作確認音) (ON / OFF)

深夜の帰宅やホーネットの作動を周囲に気づかれたくないときなどにクリック音を出さずにホーネットの ON / OFF ができます。

また、リモコン設定により常時消音にすることもできます。(P.30 参照)

P.18 参照

標準設定 ON



コンビニモード™

幹線道路周辺やコンビニエンスストアなど振動の多い場所に駐車する場合、リモコン操作で 2 段階衝撃センサーのみを一時的にスリープ状態にできます。2 段階衝撃センサーを働かせたくない場合に便利な機能です。

P.20 参照



パニックモード (強制サイレン)

いざというとき、大きな声では叫べないもの。でも、パニックモードならリモコン操作で強制的にサイレンを鳴らすことができます。リモコンボタン I を 1.5 秒以上押し続けることで強制的にサイレンを鳴らすことができます。

P.19 参照



メモリー機能

ホーネットの警報（サイレン音）が鳴った場合に警報停止後も警報が出たかどうかを記憶してレポートします。ホーネット解除時にクリックトーン（動作確認音）が通常 2 回から 4 回に変化して知らせてくれるので安心です。

P.22 参照

ピピピ
ピピピ



ダイアグノスティック™機能 (K-βのみ)

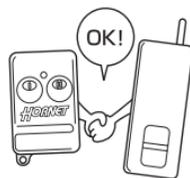
K-βにはダイアグノスティック機能（ゾーンID）が内蔵されており、センサーが異常を検出してサイレン音が鳴った場合にその原因をある程度特定することができます（LEDの点滅回数によって確認できます）。



P.23 参照

エンジンスターター、ターボタイマー作動時センサー使用可能

市販のエンジンスターター、ターボタイマーと同時に使用した場合にエンジン始動時および作動中は内蔵の2段階衝撃センサー、電流センサーはスリープモードとなり反応しませんがドアのこじ開けやその他いくつかのオプションセンサー（別売）が使用できます。これにより高度なセキュリティシステムとしてご利用いただけます。



NR-A ノイズリダクション™機能

特許

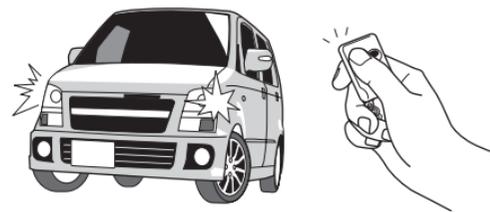
NR-Aの採用によりトラック通過ノイズ等による連続微振動を大幅にキャンセルできるようになりました。また、強風などの揺れに反応しないため誤作動が大幅に低減されました。



ライトフラッシュ

システムのON/OFF時、警告時、サイレン時にクルマのモールライトを点滅させることで、視覚的にも犯人を撃退することができます。

*車種によりオプションが必要となる場合があります。



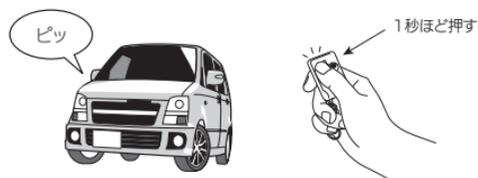
ホーネットロゴステッカー

ホーネットのロゴステッカーが1シート付属しております。周囲にホーネット装着車であることを認識させることで、視覚的に犯罪を抑制する効果抜群です。ホーネットステッカーならどんなクルマにも相性ピッタリ！

※ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。側面ガラスに貼る場所は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内におさまるように貼ってください。また、ステッカーの再発行はいたしません。

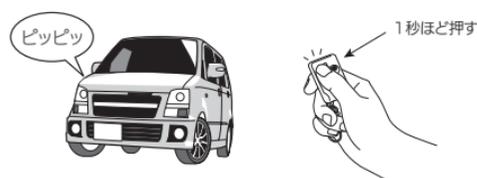
ホーネットを作動させる

- 1 エンジン停止後、クルマから降り、すべてのドアを閉めます。
- 2 リモコンのボタン I を 1 回 (1 秒ほど) 押してください。
- 3 システムが作動すると“ピッ”と 1 回動作確認音が鳴って ON したことを知らせます。



ホーネットを解除する

- 1 システム作動中に、リモコンのボタン I を 1 回 (1 秒ほど) 押してください。
- 2 サイレンが鳴っていなかった場合には確認音が 2 回 “ピッピッ” と鳴って解除されます。
*サイレンが鳴った場合はメモリー機能により 4 回 “ピッピッピッピッ” と鳴ります。
P.22 参照

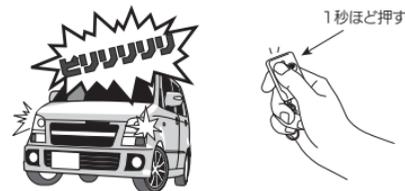


注意

- 機能設定でクリックトーン（動作確認音）を OFF に設定してある場合には作動の確認音は鳴りません。
- 操作を誤ってシステムを ON のまま走行したり、システムを作動させたつもりで OFF になってしまうことがないように注意してください。
- 何らかの理由で、リモコンのスイッチが押された場合には、走行中であってもパニックモードによりサイレン音が鳴りだす場合がありますが、あわてずにリモコンにより解除してください。

サイレンが鳴っている時にホーネットを解除する

- 1 サイレンが鳴っている時に、リモコンのボタン I を 1 回 (1 秒ほど) 押してください。



- 2 サイレンが鳴っている時にはサイレン音のみが止まります。(ハイセキュリティ解除機能が働きます。)
P.21 参照

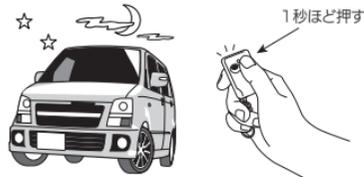
- 3 再度リモコンボタン I を 1 回 (1 秒ほど) 押すと、警戒体制が解除され、同時に確認音が 4 回 “ピッピッピッピッ” と鳴ります。



クリックトーン® 消音機能

住宅密集地や夜間にご使用の場合システムの作動/解除の音を周囲に気付かれたくない時に便利な機能です。

- 1 リモコンボタン II を 1 秒ほど押してください。



————— 5 秒以内に次の操作をする —————

- 2 づつけて、リモコンボタン I を 1 秒ほど押してください。クリックトーン（動作確認音）を消してホーネットの作動/解除ができます。



* 機能設定の項目でクリックトーンの設定を OFF にすると、ON/OFF 時のクリックトーンを常時、消すことができます。



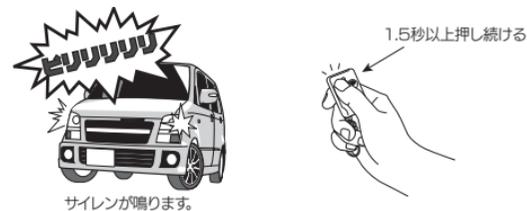
注意

- 機能設定にてクリックトーン（動作確認音）を OFF に設定した場合にはこの消音機能に関わらずクリックトーンは鳴りません。

パニックモード（強制サイレン）

緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時に便利です。

- 1 リモコンのボタン I を、1.5 秒以上押し続けます。



- 2 ホーネットはパニックモードとなり、サイレンが鳴り始めます。サイレン音終了後はシステムは ON になります。サイレン音はリモコンにより設定した秒数鳴ります。

機能設定項目 2 : P.32 参照

- 3 サイレン音が鳴っている最中にリモコンボタン I を 1 秒ほど押すと、サイレン音のみが止まります。

- 4 システムを解除したい場合には、リモコンボタン I を 1 秒ほど押してください。確認音が 2 回“ピッピッ”と鳴りシステムが解除されます。

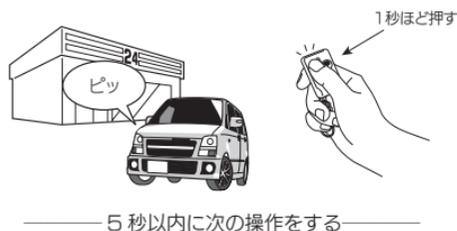
※確認音が鳴らずにサイレン音のみ止まった場合は、再度リモコンボタン I を押してシステムを解除してください。

ハイセキュリティ解除機能 : P.21 参照

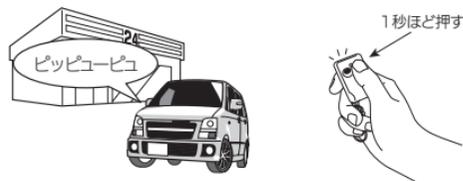
コンビニモード™

幹線道路周辺やコンビニエンスストアなど振動の多い場所に駐車する場合に便利な機能です。

- 1 リモコンボタン I を 1 秒ほど押しシステムを ON (作動) させます。



- 2 リモコンボタン II を 1 回押します。



- 3 確認音”ピッピューピュー”と鳴り、2段階衝撃センサーのみ働かなくなります。

※コンビニモードの設定音は消去できません。

- 4 コンビニモードの解除は、システムを OFF にすると同時にコンビニモードも解除されます。

ヒント

- システムを OFF にした場合はコンビニモードが解除されます。
- コンビニモード設定後は、メインユニット内蔵の 2 段階衝撃センサーはスリープ状態になりますが、その他のセンサーは作動しています。

ハイセキュリティ解除™機能

ホーネットはハイセキュリティ解除機能により、安全にセキュリティシステムが使用できます。警報音 (サイレン) が鳴っている最中に警戒体制を解除せずに、警報音のみを止めることができます。システム自体が解除にならないため、セキュリティシステムを再度 ON にする必要がありません。

- 1 システム ON

システム作動
5 秒または 5 分に
センシング開始



- 2 警報サイレン作動

センサーが働くと
サイレンが鳴り始める



- 3 ハイセキュリティ解除

警報サイレンが鳴っている最中に操作するとサイレンが止まる



- 4 システム OFF

メモリー機能により警報が出たことを記憶し、4 回動作確認音が鳴ってシステムが解除になる



メモリー機能

ホーネットはメモリー機能により、サイレンが発報したことを記憶できます。ホーネット解除時にクリクトーンが通常の2回から4回に変化してサイレンが鳴ったことをレポートしてくれます。

さらにK-βでは、付属のLEDの点滅回数によってどのセンサー系によってサイレンが鳴ったか確認できるため、とても便利です。

ダイアグノスティック機能：P.23 参照

状態	レポート内容	動作確認音
システムON	正常に作動	ピッ
システムON	センサーが動いた状態でシステムが作動	ピッ 約2~3秒後 ピッ
システムOFF	正常に解除	ピッピッ
システムOFF	サイレン音が鳴ったことをレポート	ピッピッピッピッ

動作確認用 LED (K-βのみ)

K-βに付属の高輝度LED(赤色)を接続すると、ホーネットの作動状態をLEDの点滅により確認することができます。

また、サイレンが鳴ったときに点滅回数によってどのセンサー系が警報を出したかを確認できるダイアグノスティック機能(P.23)も内蔵されていますので、安心してご使用いただけます。

※K-αには付属しておりません。取り付けも不可能です。



【点滅パターン】

サイレンが鳴っていない状態では、システム作動中は約1秒間隔で点滅します。システムを解除すると消灯します。



ダイアグノスティック™機能 (K-βのみ)

K-βにはダイアグノスティック機能が内蔵されておりセンサーが異常を検出してサイレン音が鳴った場合にその原因をある程度特定することができます。システム作動中に数回サイレンが鳴った場合は一番最後に検出したセンサーを記憶し、LEDの点滅パターンが変化します。これらはシステムを解除した時にも履歴が残っていて確認できるようになっています。

システム解除時	
LED点滅回数	サイレン発報内容
0	発報なし
1	オプションセンサーで発報
2	内蔵2段階衝撃センサーで発報
3	ドアが開けられて発報
4	電流変化を検出して発報

ダイアグノスティック機能のリセット

方法1：ホーネットを再度ON/OFFします。

方法2：キーでイグニッションをONの位置にします。

上記の方法でダイアグノスティック機能のリセットすることができます。



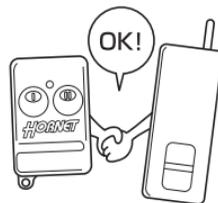
注意

- ダイアグノスティック機能は、一番最後にサイレンを鳴らす原因になったものに対してレポートします。サイレン音が鳴ったすべての原因がわかるものではありません。
- エンジンスターター、ターボタイマー作動中にシステムを解除した場合は、ダイアグノスティック機能は働きません。
- 強制解除した場合は、ダイアグノスティック機能は働きません。

エンジンスタート／ターボタイマー付き車両と併用する場合

【エンジンスタート／ターボタイマー装着車で ホーネットと併用する場合】

K-α、K-βは、エンジンスタートやターボタイマーと併用した場合でも配線によりドアのこじ開けやオプションセンサーが作動した際にサイレン音を鳴らすことができます。



⚠ 注意

- エンジンスタートやターボタイマーと併用するための配線を行なった場合は、エンジン作動中ドアトリガー以外のすべてのセンサーはスリープモードとなり反応しませんが、エンジン停止後は約5秒後に自動復帰します。
- エンジンスタートやターボタイマーと併用する場合は電流センサーをOFFに設定してください。

2段階衝撃センサーについて

【2段階衝撃センサーとは】

メインユニット内蔵の2段階衝撃センサーは車体への衝撃をキャッチし警告音またはサイレン音を発します。車体に強い衝撃が加わった場合には即サイレン音を発し、サイレンタイム設定時間あるいはリモコンによって解除されるまで鳴り続けます。弱い衝撃が加わった場合にはサイレン音は鳴らず警告音が数回鳴ります。K-α、K-βでは2段階衝撃センサーのそれぞれのモード（警告モード、サイレンモード）のセンサー感度を個別に調整可能です。リモコンで16段階の感度設定ができます。例えば、サイレンモードを0に設定すれば、サイレンを鳴らさないで警告音のみで威嚇することができますようになります。住宅密集地などで騒音が気になる方にお勧めです。

⚠ 注意

- ホーネットは128dBの大音量で警告またはサイレンによる威嚇ができます。
- 2段階衝撃センサーの感度は取付位置や取付向き、車両のボディ剛性によって大きく異なります。
- 2段階衝撃センサーの感度を0に設定した場合でも、ドアのこじ開けを検出するためのセンサーは独立して作動しています。ドアなどがこじ開けられた場合にサイレンが鳴ることを確認してください。
- 2段階衝撃センサーは風などによる“揺れ”には反応しません。
- 2段階衝撃センサーが0に設定していない場合、連続した微振動を検出してサイレンが鳴るようにプログラムされていますので環境に応じて有効にご使用ください。

【上手な感度設定の仕方】

●クルマを駐車している環境に応じて感度を設定する必要があります。ここでは代表的な感度設定の例をご紹介します。

例1：微振動が発生する要素が多くある場合

- ・幹線道路の近くでトラックなどの往来がある
- ・バックファイヤーの激しいクルマが往来する
- ・飛行場などの近く
- ・工事現場や工場の近くなど

128dBの警告音のみで効果的に威嚇
警告モード 1～5
サイレンモード 0

例2：犯罪防止のため必ずサイレン音を鳴らしたい

- ・サイレンが鳴っても特に問題ない環境

128dBの警告音とサイレン音で効果的に威嚇
警告モード 9～16
サイレンモード 8

例3：閑静な住宅街であまりサイレン音は鳴らしたくない

- ・周りでは微振動は起きない
- ・強い衝撃ではサイレンを鳴らしたい

128dBの警告音とサイレン音で効果的に威嚇
警告モード 11～16
サイレンモード 1～2

📖 ヒント

- 警告モードとサイレンモードの設定を10以上離すことで“ノイズリダクション”が効きやすくなります。

2段階衝撃センサー感度調整の方法

1 リモコンボタン I を 1 秒ほど押し、システムを ON にします。



サイレンモードの感度調整

— 5 秒以内に③の操作をする —

警告モードの感度調整

2 リモコンボタン I を 1 秒以上押し、システムを OFF にします。



— 5 秒以内に③の操作をする —

3 前の操作から 5 秒以内にリモコンのボタン II を 1 秒以上押し、感度調整モードに入ります。確認音“ピューピュー”が鳴れば、感度調整モードに入っています。5 秒以上放置すると、感度調整モードを自動的に終了します。

4 感度を上げる場合 (最大 16)

リモコンのボタン II を押すたびに感度レベルの確認音“ピッピ”が鳴って 1 段階ずつ感度が上がります。最大感度になると確認音“ピッピ ピューピュー”が鳴って知らせてくれます。



5 感度を下げる場合 (最小 0)

リモコンのボタン I を押すたびに感度レベルの確認音“ピッ”が鳴って 1 段階ずつ感度が下がります。最低感度になると確認音“ピッ ピューピュー”が鳴って知らせてくれます。



注意

●工場出荷時はサイレンモード、警告モード共にレベル 7 設定です。

電流センサーについて

メインユニット内蔵の電流センサーは車両のルームランプの点灯など一定以上の電流変化が発生した場合にサイレン音を鳴らします。



機能設定項目 3 電流センサー ON / OFF : P.34 参照

機能設定項目について

項目番号	設定項目	詳細ページ	ボタンI(標準設定)確認音“ピッ”※1	ボタンII確認音“ピッピッ”※1
1	クリックトーン®(動作確認音)	P.30	ON	OFF
2	サイレンタイムの選択	P.32	30秒	5秒/10秒/15秒 ※2
3	電流センサー ON/OFF	P.34	ON	OFF
4	センサー警戒開始時間	P.36	5秒後	5分後
5	センサーレポート音	P.38	ON	OFF
6	2段階衝撃センサーフルサイレン	P.40	ON サイレン&警告音	OFF 警告音のみ
7	NR-Aノイズリダクション™	P.42	ON 警告音(断続)	OFF 警告音からサイレン
8	コードホッピング®	P.44	ON	OFF

※1 動作確認 LED を使用した場合に、ボタン I では点灯、ボタン II では点滅して設定状況の確認ができます。

※2 確認音はリモコンのボタン II を押すたびに 5 秒 = 2 回、10 秒 = 3 回、15 秒 = 4 回に変化します。

機能設定項目 1 クリックトーン[®] ON / OFF

【クリックトーン ON / OFF】標準設定 ON

システムの作動と解除のクリックトーン（動作確認音）を常時消したい場合に便利です。

- 1** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを ON にします。

確認音：ピッ



— 5 秒以内に次の操作をする —

- 2** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを OFF にします。

確認音：ピッピッ



— 5 秒以内に次の操作をする —

- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。リモコンボタン I、II を同時に **3 秒以上押す** たびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

確認音がするまでリモコンを押します。

1 回目の確認音：ピューピューピッ



— 5 秒以内に次の操作をする —

- 4** クリックトーンを ON に設定したい場合
リモコンボタン I を 5 秒以内に 1 秒ほど押します。

確認音：ピッ

クリックトーンを OFF に設定したい場合

- リモコンボタン II を 5 秒以内に 1 秒ほど押します。

確認音：ピッピッ



— リモコン操作はしません —

- 5** 約 5 秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。
確認音：ピッピューピュ


 ヒント

- 各操作は 5 秒以内に行なってください。5 秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

 注意

- クリックトーン OFF の場合は、機能設定に入るときの「ピッ」「ピッピッ」は鳴りません。

機能設定項目 2 サイレンタイムの選択

【サイレン音の時間選択】 標準設定 30 秒

サイレン音の鳴る時間を 5 秒、10 秒、15 秒、30 秒から選択できます。

- 1** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを ON にします。

確認音：ピッ



—— 5 秒以内に次の操作をする ——

- 2** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを OFF にします。

確認音：ピッピッ



—— 5 秒以内に次の操作をする ——

- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。リモコンボタン I、II を同時に **3 秒以上押す**たびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタン I、II を同時に 3 秒以上押し、2 回目のピューピュピッピッまで移ります。

1 回目の確認音：ピューピュピッ

2 回目の確認音：ピューピュピッピッ



—— 5 秒以内に次の操作をする ——

- 4** サイレンタイムを 30 秒に設定したい場合
リモコンボタン I を 5 秒以内に 1 秒ほど押します。

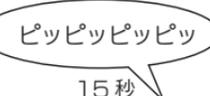
確認音：ピッ



サイレンタイムを変更したい場合

リモコンボタン II を 5 秒以内に 1 秒ほど押すたびに、5 秒、10 秒、15 秒を繰り返します。

確認音 ピッピッ (5 秒)
ピッピッピッ (10 秒)
ピッピッピッピッ (15 秒)



- リモコン操作はしません——
5 約 5 秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。
確認音：ピッピューピュ



ヒント

- 各操作は 5 秒以内に行なってください。5 秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目 3 電流センサー ON / OFF

【電流センサー ON / OFF】標準設定 ON

電流センサーを使用するか、しないかを選択できます。

- 1** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを ON にします。

確認音：ピッ



—— 5 秒以内に次の操作をする ——

- 2** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを OFF にします。

確認音：ピッピッ



—— 5 秒以内に次の操作をする ——

- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。リモコンボタン I、II を同時に **3 秒以上押す** たびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタン I、II を同時に 3 秒以上押し、3 回目のピューピュピッピッピッまで移ります。

1 回目の確認音：ピューピュピッ

2 回目の確認音：ピューピュピッピッ

3 回目の確認音：ピューピュピッピッピッ



—— 5 秒以内に次の操作をする ——

- 4** 電流センサーを ON に設定したい場合
リモコンボタン I を 5 秒以内に 1 秒ほど押します。

確認音：ピッ



電流センサーを OFF に設定したい場合

- リモコンボタン II を 5 秒以内に 1 秒ほど押します。

確認音 ピッピッ



—— リモコン操作はしません ——

- 5** 約 5 秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。
確認音：ピッピューピュ



ヒント

- 各操作は 5 秒以内に行なってください。5 秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目 4 センサー警戒開始時間選択

【センサー警戒開始時間 5秒 / 5分】標準設定 5秒

メインユニット内蔵センサーの2段階衝撃センサーと電流センサーの警戒開始時間を5秒または5分に設定します。

- 1** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを ON にします。

確認音：ピッ



— 5 秒以内に次の操作をする —

- 2** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを OFF にします。

確認音：ピッピッ



— 5 秒以内に次の操作をする —

- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。リモコンボタン I、II を同時に **3 秒以上押す** たびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタン I、II を同時に 3 秒以上押し、4 回目のピューピュピッピッピッピッまで移ります。

1 回目の確認音：ピューピュピッ

2 回目の確認音：ピューピュピッピッ

4 回目の確認音：ピューピュピッピッピッピッ



— 5 秒以内に次の操作をする —

- 4** センサー警戒開始時間を 5 秒に設定したい場合
リモコンボタン I を 5 秒以内に 1 秒ほど押します。

確認音：ピッ



センサー警戒開始時間を 5 分に設定したい場合

- リモコンボタン II を 5 秒以内に 1 秒ほど押します。

確認音 ピッピッ



— リモコン操作はしません —

- 5** 約 5 秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。
確認音：ピッピューピュ



ヒント

- 各操作は 5 秒以内に行なってください。5 秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目 5 センサーレポート音

【センサーレポート音 ON / OFF】標準設定 ON

各種センサーが作動した状態でホーネットが ON になった場合に、センサーが作動していることをレポートします。半ドアのチェックなどにも便利な機能です。

- 1** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを ON にします。

確認音：ピッ



—— 5 秒以内に次の操作をする ——

- 2** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを OFF にします。

確認音：ピッピッ



—— 5 秒以内に次の操作をする ——

- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。リモコンボタン I、II を同時に **3 秒以上押すたびに**、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタン I、II を同時に 3 秒以上押し、5 回目のピューピュピッピッピッピッピッまで移ります。

1 回目の確認音：ピューピュピッ

2 回目の確認音：ピューピュピッピッ

5 回目の確認音：ピューピュピッピッピッピッピッ



—— 5 秒以内に次の操作をする ——

- 4** センサーレポート音を ON に設定したい場合
リモコンボタン I を 5 秒以内に 1 秒ほど押します。

確認音：ピッ



センサーレポート音を OFF に設定したい場合

リモコンボタン II を 5 秒以内に 1 秒ほど押します。

確認音 ピッピッ



——リモコン操作はしません——

- 5** 約 5 秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。
確認音：ピッピューピュ



ヒント

- 各操作は 5 秒以内に行なってください。5 秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目6 2段階衝撃センサーフルサイレン

【2段階衝撃センサーフルサイレン ON / OFF】標準設定 ON

サイレンモードの設定にかかわらず、警告音のみで警戒をする場合にはOFFに設定します。

- 1** リモコンボタンIを1秒ほど押してシステムをONにします。

確認音：ピッ



——5秒以内に次の操作をする——

- 2** リモコンボタンIを1秒ほど押してシステムをOFFにします。

確認音：ピッピッ



——5秒以内に次の操作をする——

- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押すたびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンI、IIを同時に3秒以上押し、6回目の確認音が鳴るまで繰り返します。

1回目の確認音：ピューピューピッ
2回目の確認音：ピューピューピッピッ

6回目の確認音：ピューピュー
ピッピッピッピッピッピッ
ピッピッ



——5秒以内に次の操作をする——

- 4** 2段階衝撃センサーフルサイレンをONに設定したい場合
リモコンボタンIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ



2段階衝撃センサーフルサイレンをOFFに設定したい場合

リモコンボタンIIを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音 ピッピッ



——リモコン操作はしません——

- 5** 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。
確認音：ピッピューピュー



ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュー」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目7 NR-A ノイズリダクション™機能

【NR-A ノイズリダクション機能 ON/OFF】標準設定 ON

トラックノイズなどの連続微振動に対してサイレンを鳴らさずに警告音のみで警戒をします。

- 1** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを ON にします。

確認音：ピッ



— 5 秒以内に次の操作をする —

- 2** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを OFF にします。

確認音：ピッピッ



— 5 秒以内に次の操作をする —

- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。リモコンボタン I、II を同時に **3 秒以上押す** たびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタン I、II を同時に 3 秒以上押し、7 回目の確認音が鳴るまで繰り返します。

1 回目の確認音：ピューピューピッ

2 回目の確認音：ピューピューピッピッ

7 回目の確認音：ピューピュー
ピッピッピッピッピッピッピッ



— 5 秒以内に次の操作をする —

- 4** NR-A を ON に設定したい場合

リモコンボタン I を 5 秒以内に 1 秒ほど押します。

確認音：ピッ



NR-A を OFF に設定したい場合

リモコンボタン II を 5 秒以内に 1 秒ほど押します。

確認音 ピッピッ



—リモコン操作はしません—

- 5** 約 5 秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音：ピッピューピュー



ヒント

- 各操作は 5 秒以内に行なってください。5 秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュー」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目 8 コードホッピング®

【コードホッピング® ON / OFF】標準設定 ON

リモコンの ID 番号をランダムに変化させて、二度と同じ ID を使用しないので、ID コードの盗難ができなくなります。

- 1** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを ON にします。

確認音：ピッ



— 5 秒以内に次の操作をする —

- 2** リモコンボタン I を 1 秒ほど押してシステムを OFF にします。

確認音：ピッピッ



— 5 秒以内に次の操作をする —

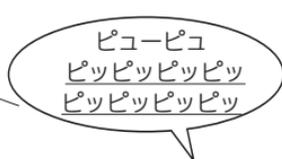
- 3** 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。リモコンボタン I、II を同時に **3 秒以上押す** たびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタン I、II を同時に 3 秒以上押し、7 回目の確認音が鳴るまで繰り返します。

1 回目の確認音：ピューピューピッ

2 回目の確認音：ピューピューピッピッ

**8 回目の確認音：ピューピュー
ピッピッピッピッピッピッピッ**



— 5 秒以内に次の操作をする —

- 4** コードホッピング® を ON に設定したい場合

リモコンボタン I を 5 秒以内に 1 秒ほど押します。

確認音：ピッ



コードホッピング® を OFF に設定したい場合

リモコンボタン II を 5 秒以内に 1 秒ほど押します。

確認音 ピッピッ



— リモコン操作はしません —

- 5** 約 5 秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音：ピッピューピュ



ヒント

- 各操作は 5 秒以内に行なってください。5 秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

故障かな?と思ったら

症状と原因	対策	症状と原因	対策
☆勝手にサイレンが鳴る ・メインユニットの固定が不十分 ・電源線の接触不良 ・各センサーの感度が高すぎる ・電流変化が起きている ・バッテリーが弱っている ・衝撃センサーの感度が強すぎる 例えば：停止時でも車両に電流変化が起きている場合は電流センサーを使用することができません。	確実に固定してください。 電源線を確実に接続してください センサーの感度を絞ってください。 電流センサーを OFF にし、ドアトリガー線の配線を行ってください。 新しいバッテリーに交換してください。 感度を絞ってください。	☆ドアを開けてもサイレンが鳴らない ・ONしてから5秒以上待っていない ・ルームランプがOFFになっている ・ルームランプが切れている ・電流変化が小さい ・ドアトリガー線の接続不良	“ピッ”と鳴ってから5秒以上待ってください。 ルームランプスイッチを“Door”にしてください。 ルームランプを交換してください。 ドアトリガー線を使用してください。 ドアトリガー線を確実に配線してください。
☆リモコンが利かない ……リモコンのLEDの点滅である程度判断できます。 ・IDコードがずれている ・ラジオ局など無線局が近くにある ・アンテナ線が金属部に接続している ・リモコンの電池がない ・バッテリーが弱っている ・水の浸入があった リモコンの電池の接触不良	再度リモコンの同調をしてください。 (お買い求めの販売店に調整を依頼してください) *メインユニットの電源やバッテリーなどを取り外した場合などに電源ノイズによりリモコンの同調がずれることがあります。 車の近くに寄って操作してください。 アンテナ線の固定箇所を変えてください。 新しい電池に交換してください。 新しいバッテリーに交換してください。 お買い求めの販売店に持ち込み修理を依頼することをお勧めします。 *水の浸入による故障は保証期間内であっても有償修理となります。	☆叩いてもサイレンが鳴らない ・作動音がしてから5秒以上待っていない ・コンビニモードになっている ・車体を揺らしている ・感度が低すぎる ・メインユニットの固定位置が最適でない ・黄色線を常時電源に接続している	“ピッ”と鳴ってから5秒以上待ってください。 再度ホーネットをONにしてください。 揺れには反応しません。 感度を上げてください。 説明書通りに固定してください。 黄色線は必ずIG線に接続してください。
		☆オプションセンサーが働かない ・作動音がしてから5秒以上待っていない ・感度が低すぎる ・テスト方法が違っている ・黄色線を常時電源に接続している	“ピッ”と鳴ってから5秒以上待ってください。 感度を上げてください。 各センサーに最適なテスト方法でテストしてください(オプション付属の説明書参照)。 黄色線は必ずIG ONで+12Vが供給される線に接続してください。

上記のテストを行っても、正しく作動しない場合など、詳しくはお買い求めの販売取付店またはお客様サポートセンターまでお尋ねください。

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。
- 本製品の保証期間はご購入の日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。本製品の補修用性能部品は製造打切り後、最低6年間保存しています。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

- 製品には製品保証書を添付しております。ご購入の際には、必ず製品保証書をお受け取りの上、大切に保存してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
- シリアル番号 (ID番号) は安全確保上重要なものです。ご購入の際にはメインユニットにシリアル番号が表示されているか、また、保証書記載のシリアル番号と一致しているかお確かめください。お客様の安全管理、アフターサービスのため、メインユニットのシリアル番号 (ID番号) の登録は必ずユーザー登録カード (はがき) により郵送にて行ってください。(FAX不可)
 また、ユーザー登録がされていない場合にはサポートが受けられない場合がありますのであらかじめご了承ください。同梱のはがきは製品保証書、ユーザー登録、保険加入申込書を兼ねていますが保険加入を希望しない場合にも「ユーザー登録兼保険加入申込書」の返送をおこなってください。
 車載物盗難保険を希望されない場合は「加入しない」にチェックをしてから投函してください。

修理をご依頼の前に

- 説明書に記載の「故障かな?と思ったら」(P.46)を参考にして、故障かどうかを確認してください。故障とお考えの前にお客様サポートセンターにご相談ください。お客様サポートセンターへご相談後に検査依頼された場合でも、送料はお客様のご負担となります。さらに、本製品は持ち込み修理品となりますので、保証期間中であっても保証書がない場合や必要事項が記載されていない場合は保証対象外となり、有料検査・有料修理となります。また、使用上の誤りや不当な修理や改造による故障および損傷で修理サービスを依頼されますと、保証期間中であっても有料となります。
- 修理の際は保証書を必ずご提示ください。
- 修理時に取り外した不良部品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 購入店が移転・閉店した場合は、お近くのホーネット取扱店までご相談ください。
- 当社では製品の検査・修理時の代品貸し出しなどは一切行っておりません。また、修理を依頼される際の送料、取り付け・取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼されるときは

次の事項を確認して、お買い上げの販売店または取扱店にご依頼ください。

- 1 型式名、型番号、シリアル番号
 (例：ホーネット K-α 5012204321)
- 2 故障の内容
 (どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ店名
- 5 お名前、住所、連絡先電話番号

●ホーネットについてのお問い合わせは……

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

お客様サポートセンター (セキュリティラウンジ本体内)

TEL052-389-5885

FAX052-389-5887

営業時間 月～金 10:00～17:00 (土、日、祝日、年末年始等は除く)

※お問い合わせの際は、ホーネットの型式とシリアル番号を確認させていただきますので
あらかじめご準備ください。